

移住した皆さんに
インタビュー

ようこそ 小野町

先月号では、定住・二地域居住の推進のため、町が昨年から実施している「笑顔とがんばり！小野町定住・二地域居住推進事業」の事業内容をご紹介しました。

今回は、この事業を実際に利用されたご夫婦にお話をうかがいました。

◆いつ小野町へ移住しましたか？

昨年11月に土地と家屋を購入し、建物をリフォーム後、今年の5月に移住しました。

◆なぜ移住しようと思われましたか？

首都圏と金山町を二地域居住して、夏場に金山町でカスミ草を栽培し、全国の生花市場に出荷していました。

約10年間二地域居住をしていましたが、高齢となり、居住地間の移動が困難になってきたことや冬の積雪量などを考慮して、新たに定住する土地を探すことにしました。

◆どのように移住先を決めましたか？

親戚が関東地方に多いので、関東方面へのアクセスが良い所を探しました。また、日常生活の利便性や信頼できる司法書士や建築事業者などがいるかどうかも考慮しました。

◆移住後の生活はいかがですか？

家の周りの景観が大変気に入っています。地域の方々の温かいご理解やご支援を得て、趣味の魚釣りや家庭菜園などをやりながら、のんびりと充実した毎日を送っています。ペットとして飼っている猫も伸び伸びと遊んでいて楽しそうです。

◆笑顔とがんばり！小野町定住・二地域居住推進事業を利用していかがでしたか？

定住祝金として商品券をいただき、大変感謝しています。どのような店があるのかわからないので、地元の方に紹介していただいたお店で利用しました。

◆小野町の魅力は何ですか？

小野町は、人情味が厚く味わいがある町だと思います。近隣の山々や木々などの自然も穏やかで、気候風土が人間に優しい土地だと感じています。また、首都圏からのアクセスが良いことも魅力です。一方で、今は車を利用して日々の買い物等にも困っていませんが、車を利用しなくても安心できる生活交通が確保されればよいなと思っています。

お忙しい中、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。

鈴木武男さん、尚子さんご夫妻
(和名田行政区)



カスミ草の栽培経験のある鈴木さんは、農業に対しても熱い想いを抱いているようです。自分の経験を他の人にも生かしてもらいたいと、春に実施した田舎暮らし体験ツアーの懇談会にも参加していただきました。